

## バッテンバーグ・マーキング紀行



バッテンバーグ・マーキング 本場の車たちです。

高速道路に入るとシェブロンマーキングは既に当たり前の世界。高速道路上で停車する可能性のある車両にはこれが義務付けだからです。

天気は良くない遠くからでも、  
被視認性が高いことが実感できます



あっちも、こっちもシェブロンです

最初は珍しくてはしゃいでおりましたが、  
段々と見飽きて来る程に…



こちらは建設業の商用車ですが、小さな車にも  
後面にシェブロンがシッカリ施工されています。



ダンプにも



大きな安全標識として遠くからでも視認し易い。  
故に自分達の安全を守ってくれます。

そのせいか、手持ちの標識が少ないような。



こちらは警察のバッテンバーグ・マーキング

グローバルでは、**青色**のバッテンバーグ・マーキングは、そこに警察車両が居ることを示しています。

なので、日本の救急車に施工する場合は、**赤／白**が良いのです。



色々な検証の結果、ハーフバッテンバーグ・マーキングに大きく紺色でPOLICEと、所属を示すのが一番分かり易いとされています。

これもそれに則ったデザインです。



最近の海外の緊急車両は、どれも散光式警光灯が薄べってく装着されているのが、何となく格好よく感じてしまいます。



後面にはシェブロンがきちんと施工されています



こちらは救急車。

ボディが黄色ベースなので視認性が高いです。



暗闇だと尚のこと、赤灯も灯火も点けていなくても十分に視認性が高いです。



救急車でも民間のものは白ベースでバッテンバーグ・マーキングが多少アレンジされています。



こちらは救急ステーション。日本にもこんなシステムが、いつか出来るでしょうか



こちらは救急ステーションでは無く、病院にて出場待機中の救急車がズラ～りです。やはりグローバルの救急車は、メルセデス・ベンツですね。信頼性が全然違います。



日本では「救急車は白色とする」という法規がありますので、上から下までシェブロン・マーキングを施工するのは憚られます。



事故があつたようです。

救急車が3台駆けつけていました。

マーキングだけでなく、このように斜めに停車させるのも被譲効果を上げるそうです。

現場では警光灯は消されていました。



緊急走行時でも、不要な時はサイレンを止めていきます。

今回、海外の実際のバッテンバーグ・マーキング、シェブロン・マーキングの様子をお伝えしました。ルールが厳格に守られており、日本で見るようなアレンジ・デザインは殆ど無く、統一性が保たれていました。



#### AKAO 救急車 相談窓口

株式会社 赤尾・特需部 救急担当

東京都千代田区外神田6-13-13

03-3832-2204

無断利用を禁ずる